

たてやま
秋の北アルプス立山（富山県）

だんだ
新緑の段戸国有林（愛知県）



中部の国有林

令和3年度 中部森林管理局の取組



ほうけんだけ
冬の中央アルプス宝剣岳（長野県）

しらきみね
夏の白木峰（岐阜県）



国民の森林・国有林

林野庁 中部森林管理局

CHUBU Regional Forest Office, Forestry Agency

目 次

I 概要

1 中部森林管理局について

(1) 沿革	1
(2) 組織	2
(3) 管内図	3
(4) 森林面積	4
(5) 木材を利用した庁舎や内装	5

2 令和3年度の実施のポイント

II 業務内容

1 公益的機能の一層の発揮

(1) 国有林の森林の区分	8
(2) 多様な森林への誘導	9
(3) 安全・安心への貢献	10
(4) 優れた自然環境の維持・保存	12
(5) ニホンジカ被害対策	14

2 林業の成長産業化への貢献

(1) 徹底的なコスト縮減と生産性向上	15
(2) 木材の安定供給とブランド材の需要拡大の推進	16
(3) 民有林との連携	17

3 「国民の森林」としての管理経営

(1) 双方向の情報受発信	18
(2) 森林環境教育の推進	18
(3) 国民参加の森林づくり	19
(4) レクリエーションの森	20
(5) 管内の百名山と主な山並み	22
(6) 管内の巨木	24

参考資料

・ 富山県の国有林	25
・ 長野県の国有林	26
・ 岐阜県の国有林	27
・ 愛知県の国有林	28

I 概要

1 中部森林管理局について

(1) 沿革

江戸時代の日本の森林の利用形態は、藩営林、農用入会林、部分林、私営林に大別することができますが、各藩の領主の権力によってその内容には大きな差がありました。日本三大美林の一つである木曾ヒノキは、尾張藩による厳格な管理がされた後、現在に至っています。国有林による森林づくりと木づかいの歴史は一世紀半に及びます。



かぶまつりのす
株祭之図

樹木を切り倒した後の切株付近へその木の梢を挿し、山の神に奉納して感謝の意を示す儀式(19世紀の作品)

1867年
(慶応3年)

大政奉還

1869年
(明治2年)

版籍奉還により、藩営林の多くは官林となる

1874年
(明治7年)

森林の所有権を明確にするための「官民有区分」の開始

1878年
(明治11年)

内務省地理局 長野出張所

同 岐阜出張所

1879年
(明治12年)

内務省山林局 長野出張所

同 岐阜出張所

1881年
(明治14年)

農商務省 木曾山林事務所

同 岐阜山林事務所

1883年
(明治16年)

同 石川山林事務所

1886年
(明治19年)

農商務省 木曾大林区署

同 岐阜大林区署

同 石川大林区署

1888年
(明治21年)

農商務省 松本大林区署

同 愛知大林区署

1889年
(明治22年)

農商務省 長野大林区署

宮内省御料局 静岡支庁

同 木曾支庁

同 石川大林区署

1892年
(明治25年)

明治27年 保安林取扱心得発令

宮内省御料局 名古屋支庁

1902年
(明治36年)

明治30年 森林法制定

宮内省御料局 木曾支庁

同 大阪大林区署

1908年
(明治41年)

宮内省帝室林野管理局 木曾支庁

同 名古屋支庁

1913年
(大正2年)

農商務省 東京大林区署



1914年
(大正3年)

大正4年 保護林の設定

宮内省帝室林野管理局 木曾支局

同 名古屋支局

1924年
(大正13年)

農商務省 東京営林局

宮内省帝室林野局 木曾支局

同 名古屋支局

同 大阪営林局

1947年
(昭和22年)

林政統一 農林省林野庁が一元的に所管

長野営林局 (長野県)

名古屋営林局 (富山県、岐阜県、愛知県)

1956年
(昭和31年)

昭和26年 国有林野法制定

長野営林局庁舎落成 (現在も中部森林管理局庁舎として使用)



1978年
(昭和53年)

昭和39年 林業基本法制定

農林水産省林野庁 長野営林局

同 名古屋営林局

1985年
(昭和60年)

平成11年 国有林野法改正
(名称も国有林野管理経営法へ変更)



同 名古屋営林支局

1999年
(平成11年)

中部森林管理局

同 名古屋分局

2004年
(平成16年)

中部森林管理局 (名古屋分局は名古屋事務所に改組)

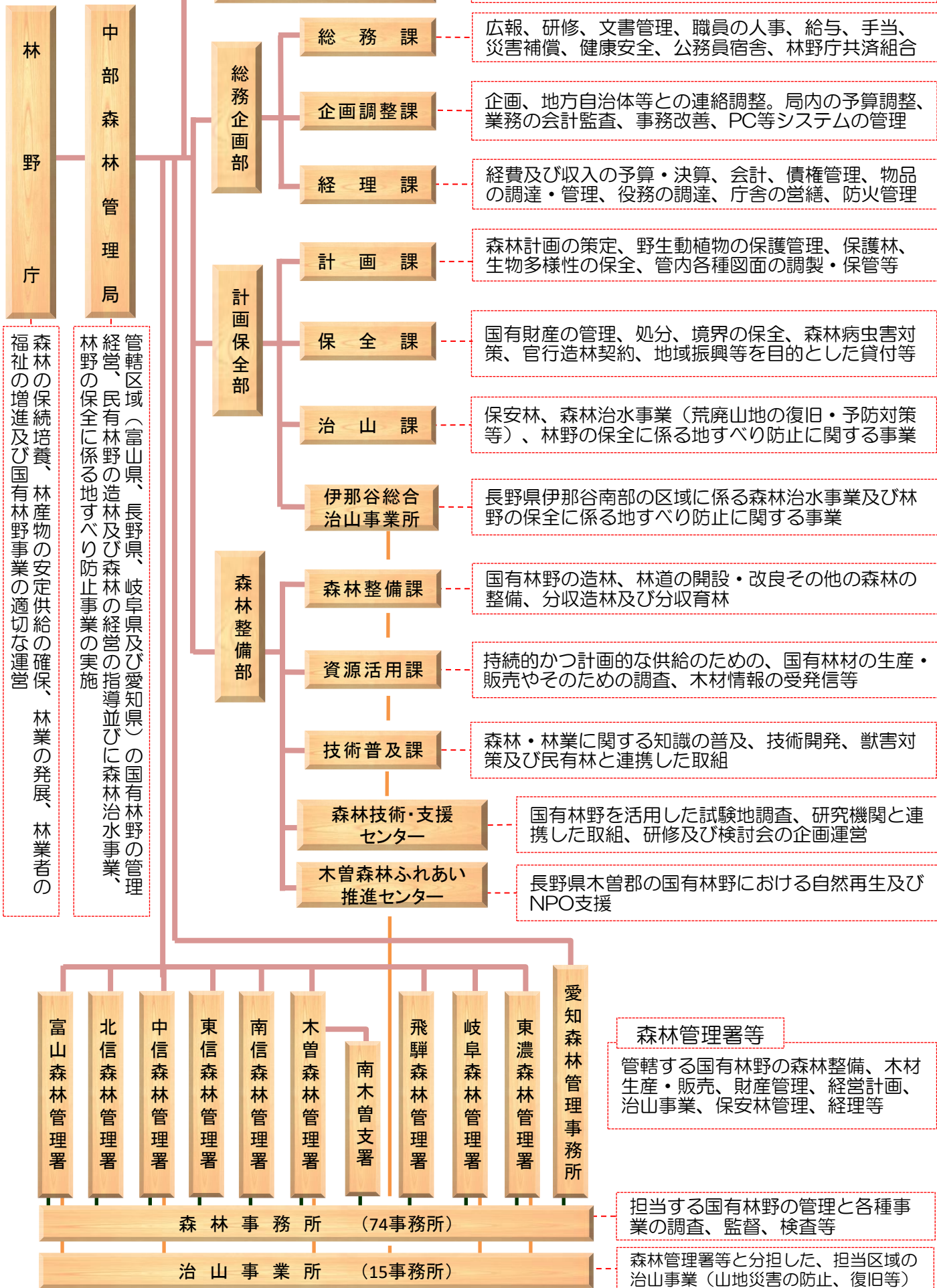
平成24年 国有林野管理経営法改正

平成30年 森林経営管理法制定

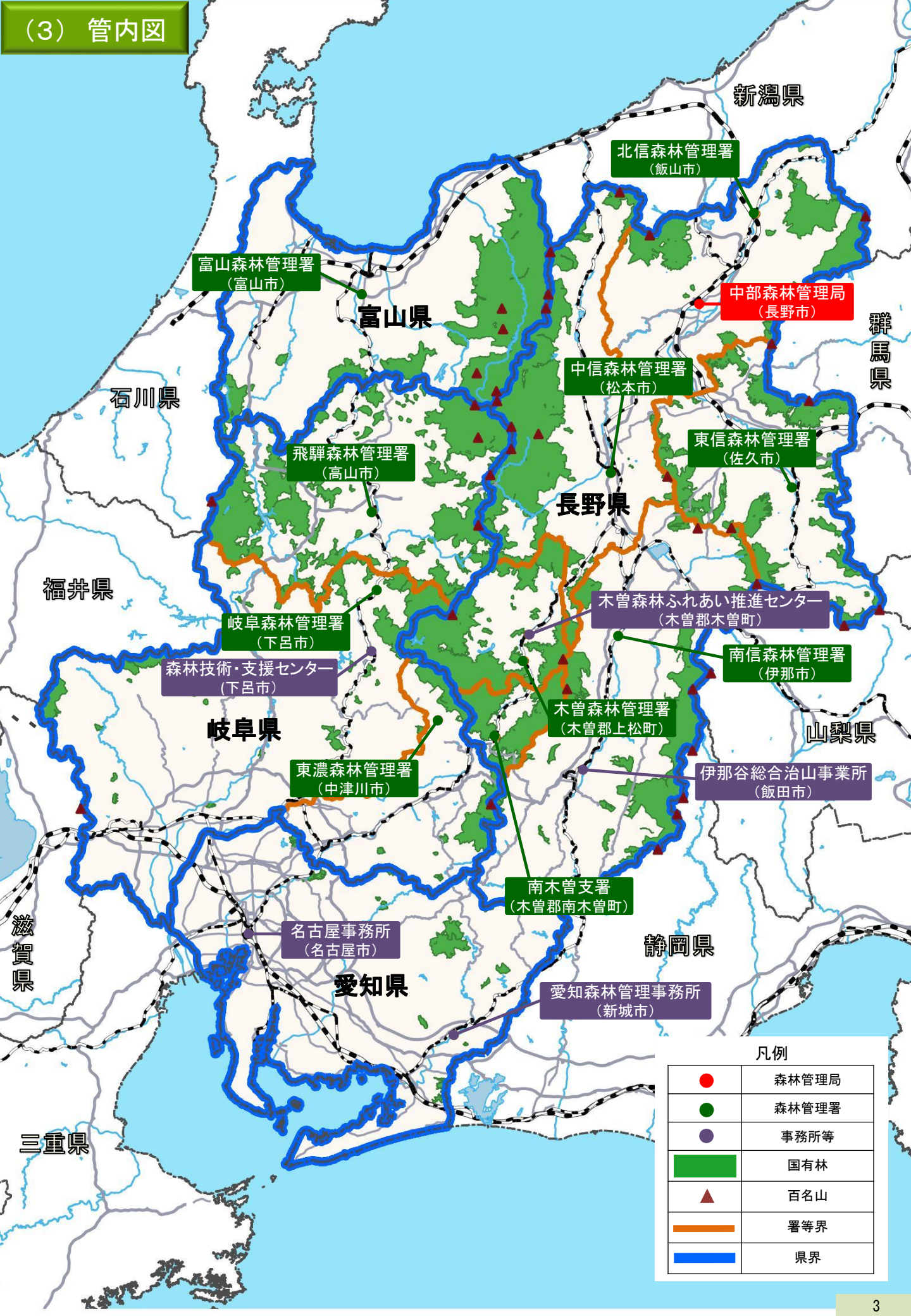
平成31年 森林環境税法制定

令和元年 国有林野管理経営法改正

(2) 組織



(3) 管内図



凡例

●	森林管理局
●	森林管理署
●	事務所等
	国有林
▲	百名山
	署等界
	県界

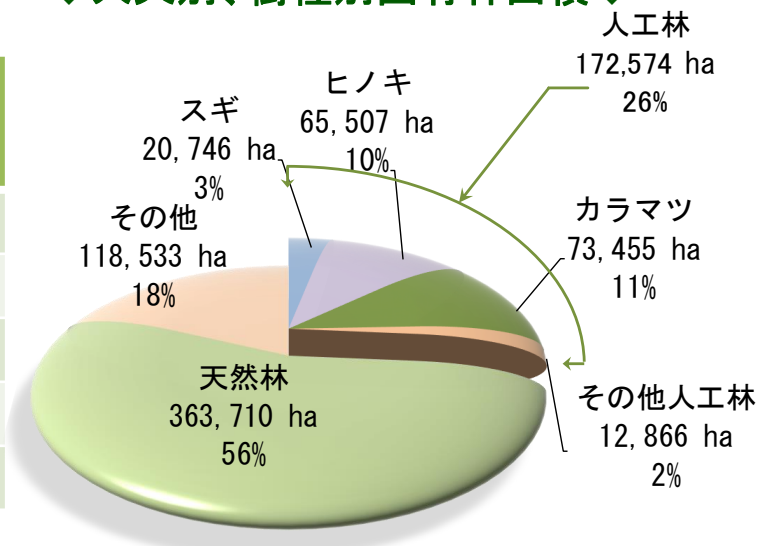
(4) 森林面積

◇4県別の国有林面積◇

県	県土面積 (万ha)	国有林面積 (万ha)	県土比率 (%)
富山	42	10	24
長野	136	37	27
岐阜	106	17	16
愛知	52	1	2
計	336	65	19

※管内4県の県土面積の約2割が国有林です。

◇人天別、樹種別国有林面積◇



国有林面積：654,816ha

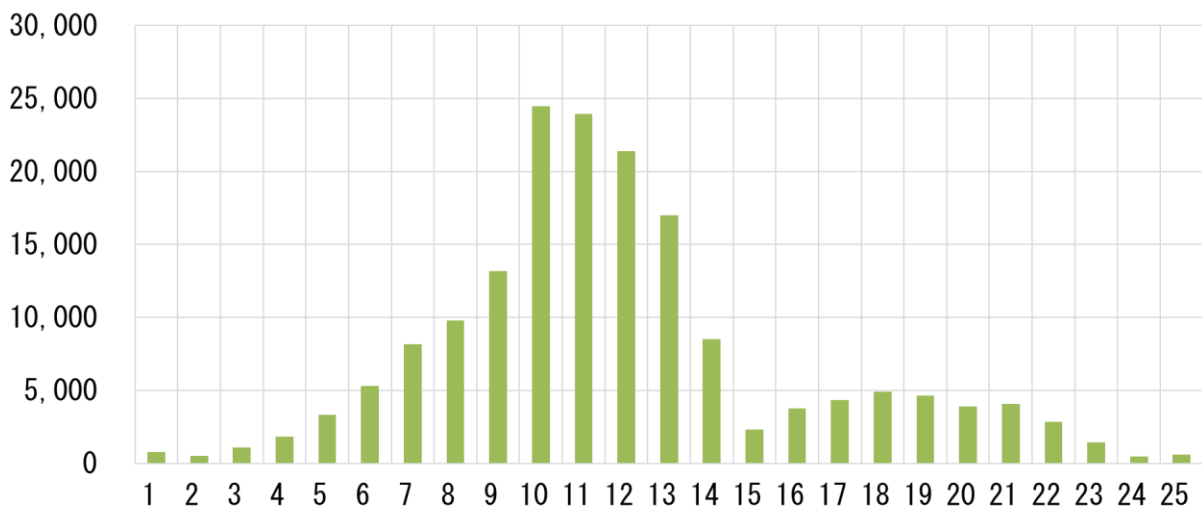
(令和3年4月1日現在)

※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

中部森林管理局管内の国有林は、約半分がナラ類、カンバ類、ブナ科などの広葉樹やモミ、ツガの針葉樹からなる天然林、約3割がカラマツ、ヒノキなどの人工林、残る2割は高山帯の岩石地などで占められています。

◇人工林^{れいきゅう}齢級別面積◇

単位：ha



年齢級

※ 年齢級とは林齢を5年毎にくったもので、1年齢級は1～5年生を表します。

人工林は、10～12 年齢級(46～60年生)の森林が主体となっています。健全で活力ある森林の育成による国土保全や二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等のため、間伐などの森林整備を積極的に進めています。また、16年齢級(80年生)以上の高齢級の森林から、高品質なブランド材を供給しています。

(5) 木材を活用した庁舎や内装

ア 庁舎・内装・オフィス家具

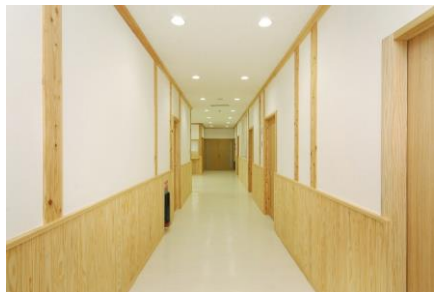
庁舎の建築、改修、内装、オフィス家具に、地域の木材を積極的に利用して、木材のPRに努めています。



庁舎の新築(南木曾支署)



庁舎の改修(東信署)



庁舎の内装(岐阜署)



オフィス家具(中部局)

イ 暖房設備

木質バイオマスエネルギー利用を進めるため、ペレットストーブやペレットボイラーを導入しています。



ペレットストーブ(富山署)



ペレットボイラー(南木曾支署)

ウ 事務用品その他

間伐材チップを活用したコピー用紙、封筒等の調達や、「脱プラスチックは会議のお茶から」として、カートカン(カップやストロー無しでも飲める紙製飲料缶。国産材チップを活用)の調達等も進めています。



コピー用紙



封筒



カートカン

2 令和3年度の取組のポイント

(1) 公益的機能の一層の発揮

◇多様な森林への誘導◇

- ・主伐時の広葉樹の保残等により、針広混交林等の多様な森林づくりを推進します。

◇安全・安心への貢献◇

- ・令和2年7月豪雨等により被災した森林等の復旧を推進します。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の取組として、森林の防災・保水機能を発揮させる間伐等の森林整備、治山施設整備等による流木・土石流・山腹崩壊防止対策を実施します。
- ・大規模な山地災害が発生した際は、県や市町村等とのヘリコプターでの合同調査や森林土木技術者の派遣等により、被災地の早期復旧に向けた支援を行います。
- ・「航空レーザ活用元年」として、計測データの公開を進めるとともに、地域防災計画策定等の参考にしていただけるよう、山地災害危険地区に係る情報を市町村等に順次提供します。

◇ニホンジカ被害対策◇

- ・くくりワナの貸し出しによる捕獲の強化やICTを活用したワナ見回りの効率化、請負事業者と猟友会が連携した「ついで見回り・通報」「ついで捕獲」等により、地域ぐるみのニホンジカ対策を推進します。
- ・既存の作業道を活用し、獣の通り道（獣道）を遮断せずに残して設置した防護柵（ブロックディフェンス）と、くくりワナによる捕獲を組み合わせた対策を試行します。



主伐時の広葉樹の保残（南木曽支署）



流木対策の実施（流木捕捉工）
（中信署）



ブロックディフェンス（南信署）

(2) 林業の成長産業化への貢献

◇徹底的なコスト縮減と生産性向上◇

- ・生産性向上実現プログラム現地検討会の開催、優良事例のHPへの掲載、特に優良な事例の「国有林間伐・再造林推進コンクール」への推薦等により、素材生産能力の高い事業者の育成に取り組みます。
- ・伐採・造林一貫作業システムや機械地拵え等により、造林コストの縮減に取り組みます。
- ・ドローン、航空レーザ、地上型レーザースキャナ、デジタルレーザコンパス、デジカメ検知システムといった新たな機器を活用し、事業実施に必要な各種調査（収穫調査等）の効率化を推進します。



ドローンによる現地確認（岐阜署）

◇木材の安定供給とブランド材の需要拡大の推進◇

- ・国有林材の安定供給システムに取り組むとともに、高齢級で高品質な人工林ヒノキを「まるこうまるこく（高）まるこうまるこく（国）木曽ひのき」、まるこうまるこく「まるこうまるこく（高）まるこうまるこく（国）東濃ひのき」や「だんど段戸SAN」として、また、民有林と連携して「信州プレミアムカラマツ」を積極的に供給します。



「高（国）木曽ひのき」（木曽署）

・公共建築物や神社仏閣等の建築に必要となる、特殊な寸法や品質の丸太のニーズを木材市場を通じて情報収集し、需要に応じた供給を行います。

・木質バイオマス燃料の円滑な供給や造林コストの低減等を目的として枝葉や端材などD材の供給を推進します。



燃料用材の供給(南木曾支署)

◇民有林との連携◇

・「森林経営管理制度」の推進に向け、現地検討会の開催等により市町村や林業経営体への森林・林業技術の普及に取り組むとともに、技術力向上のための当局の職員研修に、新たに市町村職員を受け入れます。

・また、国有林の一定区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期間・安定的に樹木を採取できる権利を地域で活躍する林業経営体に設定する「樹木採取権制度」の実施に取り組みます。



職員研修(現場実習)

(3)「国民の森林」としての管理経営

・「国有林おさんぽMAP」の活用等により、国有林を通じた地域の観光振興に取り組めます。

・中部山岳など国有林が国立公園にもなっている地域において、環境省との連携強化に取り組み、優れた自然の保護と利用の両立を目指します。



GSS(グリーン・サポート・スタッフ)による登山道巡視(富山署)

(4)新型コロナウイルス感染症への対応

・事業の早期かつ安定的な発注により、地域経済及び雇用の下支えに努めます。

・木材の供給動向や価格の推移など地域の木材需給の動向等を民有林とも共有しつつ、「国有林木材供給調整検討委員会」の意見を踏まえ、必要に応じて国有林からの木材供給調整等を弾力的に行い、木材価格の安定に貢献します。



木製消毒スタンド

(参考)主要事業量

		単位	富山県	長野県	岐阜県	愛知県	合計
保 育	新植、植付	ha	—	103	55	30	188
	下刈、つる切等	ha	—	666	246	133	1,045
	間 伐	ha	48	1,869	865	73	2,855
収穫量	主 伐	千m ³	0.8	197	160	34	392
	間 伐	千m ³	14	374	176	20	584
	計	千m ³	15	571	336	54	976
製品生産量		千m ³	5	182	63	10	260
立木販売		千m ³	0.8	216	200	35	452
林 道	新設	km	0.2	1.6	2.3	0.6	4.6
治 山	溪間工	基	5	78	29	7	119
	山腹工	ha	2	34	16	9.5	62
	地すべり防止工	ha	—	96	—	—	96

※ 事業量は、項目毎小数点以下四捨五入により、計が合わない場合があります。

※ 立木販売には分収育林及び分収造林を含んでおり、分収契約者の意向等により変更する場合があります。

Ⅱ 業務内容

1 公益的機能の一層の発揮

(1) 国有林の森林の区分

国有林では重視すべき機能に応じて森林を5タイプに区分し、公益重視の管理経営を行っています。

中部森林管理局管内は、その多くが急峻な脊梁山脈地帯であるため、山地災害防止タイプが約4割を占めています。

山地災害防止タイプ	土砂の流出・崩壊、雪崩、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防止など、安全な国民生活を確保することを重視して森林を守り育てます。
自然維持タイプ	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存など貴重な自然環境の保全を重視して森林を守り育てます。
森林空間利用タイプ	スポーツ又はレクリエーション、教養文化、休養等の活動の場や優れた景観の涵養並びに都市及びその周辺の風致の維持を重視して森林を守り育てます。
快適環境形成タイプ	騒音の低減、大気の浄化、木陰の提供等による気象の緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全することを重視して森林を守り育てます。
水源涵養タイプ	水源の涵養などの公益的機能に配慮しながら、森林資源の有効活用も考慮した森林を守り育てます。

山地災害防止タイプ



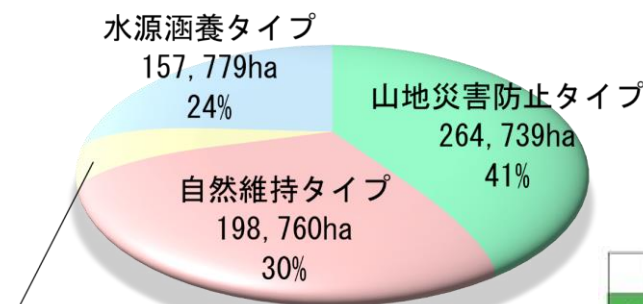
あかいしざわ
(北信署管内: 赤石澤国有林)

水源涵養タイプ



みなみあいきやま
(東信署管内: 南相木山国有林)

◇機能類型別面積◇



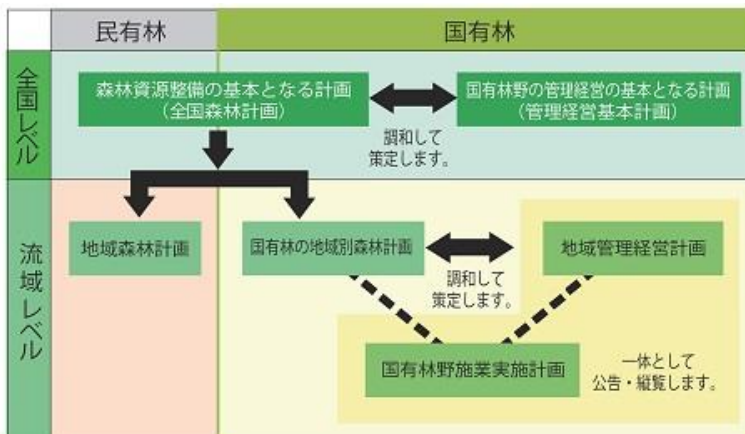
森林空間利用タイプ 33,538ha 5% ※ 快適環境形成タイプは該当なし

国有林面積 654,816ha (令和3年4月1日現在)

※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

◇国有林の計画体系◇

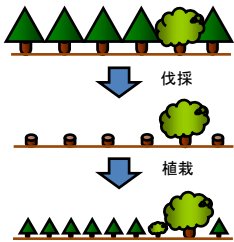
国民の大切な森林を計画的に管理経営するために、地域ごとに森林整備に関する基本的な事項を示す「国有林の地域別の森林計画(計画期間:10年)」や管理経営に関する基本的事項を示す「地域管理経営計画(計画期間:5年)」などを定めています。



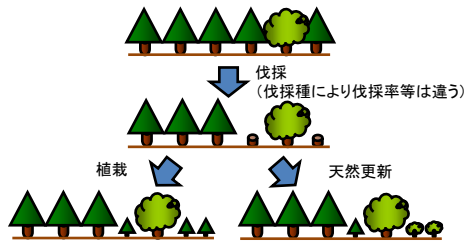
(2) 多様な森林への誘導

森林における生物多様性の保全など、森林の持つ公益的機能の一層の発揮を図るため、様々な生育段階や樹種で構成される針広混交林等の多様な森林へ誘導する森林施業を推進します。

いくせいたんそうりん 育成単層林の場合



いくせいふくそうりん 育成複層林の場合



林内又は周辺に高木性広葉樹や天然生稚幼樹がある場合には、伐採時に保残し育成することにより、段階的に針広混交の育成複層林への誘導を図ります。

目指す森林の状態



植栽や自然落下又は飛来する種子の発芽、生育によって、複数の樹冠層を成立させ、維持していきます。



針広混交林のイメージ

★ 山をよく見、山とよく相談しながら、山に応じた森林施業を行います。

～～多様な森林への誘導事例～～

○ 主伐時の広葉樹の保残^{ほざん}

ヒノキ人工林の主伐箇所において、広葉樹を保残し、針葉樹と広葉樹が混交する森林への誘導を行っている事例

(南木曾支署管内 南蘭国有林)^{みなみあらかぎ}



○ スギ人工林内における針広混交林化

スギ人工林内に侵入したウダイカンバ等の密度管理を行い、針広混交林への誘導を図っている事例

(富山署管内 長棟国有林)^{ながとう}



○ 除伐時の広葉樹の保残

ヒノキ造林地の除伐で広葉樹を保残し、針広混交林の保残を行っている事例

(岐阜署管内 本洞国有林)^{ほんぼら}

◇災害発生時の迅速な対応◇

災害発生時は、地方自治体など関係機関と連携した被災状況の調査や復旧対策の実施など、迅速な災害対応に努めています。

令和元年東日本台風への対応

令和元年東日本台風(台風19号)により、長野県の北信・東信地方を中心に甚大な被害が発生しました。

当局では台風通過後速やかに、長野県とも連携しながら、ヘリコプターによる調査をはじめ被害状況の把握に努めるとともに、災害復旧計画を作成しました。被災地の国の機関として、長野県、関係自治体をはじめ様々な機関と連携しつつ、地域の早期復旧に向けて全力で取り組んでいます。



ヘリに搭乗する職員



ヘリ調査結果の公表状況(国有林・民有林)



かくまやま
角間山国有林の状況(長野県上田市)

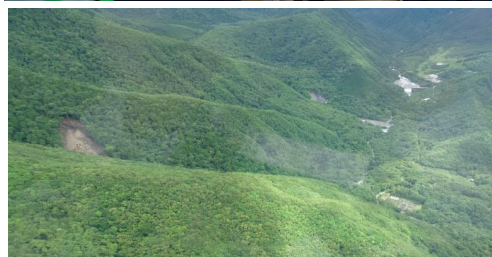
令和2年7月豪雨への対応

令和2年7月豪雨により、長野県南部及び岐阜県を中心に甚大な被害が発生しました。当局では、長野県や岐阜県とも連携しながら、ヘリコプターによる調査により、山腹崩壊や土砂の流出など被災箇所を確認しました。

この結果、長野県木曾町の日義国有林において河道閉塞(天然ダム)が確認され二次被害が懸念されたことから、土石流の発生予測(シミュレーション)を行うとともに、住民の皆様へ速やかに情報提供ができるよう、土石流センサー・監視カメラ・通報システムを設置しました。



土石流センサーの設置
(日義国有林)



ヘリによる長野県木曾郡内の被害状況確認



◇民有林直轄治山事業の実施◇

民有林直轄治山事業は、国土の保全上特に重要であると認められ、事業の規模が著しく大であるとき、事業が高度の技術を必要とするとき、又は事業の利害関係が一都道府県にとどまらないときに、都道府県の要請を受けて、国が民有林において実施するものです。

中部森林管理局管内においては、常願寺川地区(富山県)、小渋川・松川入・姫川地区(長野県、新潟県)、板取川地区(岐阜県)の民有林において実施しています。

【実施事例】板取川地区(岐阜県)

本地区は、岐阜県関市の長良川支流板取川上流部に位置し、急峻な地形と地質的に断層破砕作用の影響を受けた脆弱な花崗岩地帯にあります。平成14年7月の台風6号の影響を受けて新たな大規模崩壊地の発生と拡大崩壊を引き起こし、平成16年度から民有林直轄治山事業を実施しています。

そして、平成30年7月豪雨により、本地区の東側に隣接する滝波谷区域で大規模な山腹崩壊と土石流が発生したため、岐阜県の要請を受け、令和元年度に事業地区を滝波谷区域まで拡大し、早期復旧に向けて事業を実施してまいります。



滝波谷区域の山腹崩壊状況(岐阜県関市)



板取川地区事業説明会(主催:関市)

◇暮らしを守る保安林◇

私たちの暮らしを守る役割を果たしている森林を「保安林」として指定し、森林の持つ水源の涵養や山地災害の防止などの機能が失われないように伐採を規制したり、適切に手を加えるなど、期待される森林の機能を維持できるよう必要な管理を行っています。

中部森林管理局管内の国有林の96%が保安林に指定されています。



金華山国有林(土砂流出防備保安林)
(岐阜署)



段戸国有林(水源かん養保安林)
(愛知所)

(4) 優れた自然環境の維持・保存

◇保護林◇

「保護林」とは、大正4年(1915年)に国有林独自に設けたもので、原生的な天然林などを保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的とするものです。

中部森林管理局においても管内の「保護林」の保護管理に取り組んでいます。

【86箇所 計112,250 ha (令和3年4月1日現在)】

森林生態系保護地域

それぞれの地域の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理
【5箇所 計30,354 ha】



さぶりゅうやま
【佐武流山周辺森林生態系保護地域】



かなぎどがわ たかせがわ
【北アルプス(金木戸川・高瀬川源流部)森林生態系保護地域】



日本海側と太平洋側を結ぶ様々な植生分布

北アルプスを代表する原生的で多様な天然林

生物群集保護林

地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理 【25箇所 計77,420 ha】



とがくしやま
【戸隠山生物群集保護林】



のうごうはくさん
【能郷白山ブナ生物群集保護林】



天然林や人工林、湿原など多様な自然環境及び多種多様な野鳥が生息

日本海型の原生的ブナ群落

希少個体群保護林

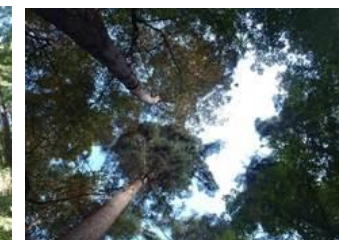
希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理
【56箇所 計4,476 ha】



【タテヤマスギ遺伝資源希少個体群保護林】



きりうえ
【浅間山霧上の松希少個体群保護林】



タテヤマスギが群生する原生林

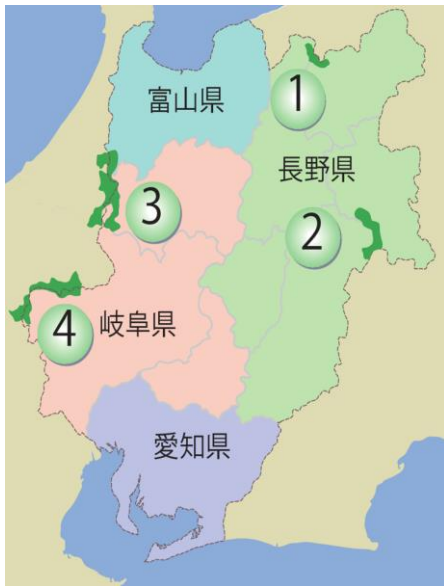
学術的に重要な浅間山麓の天然アカマツ林

◇緑の回廊 [コリドー]◇

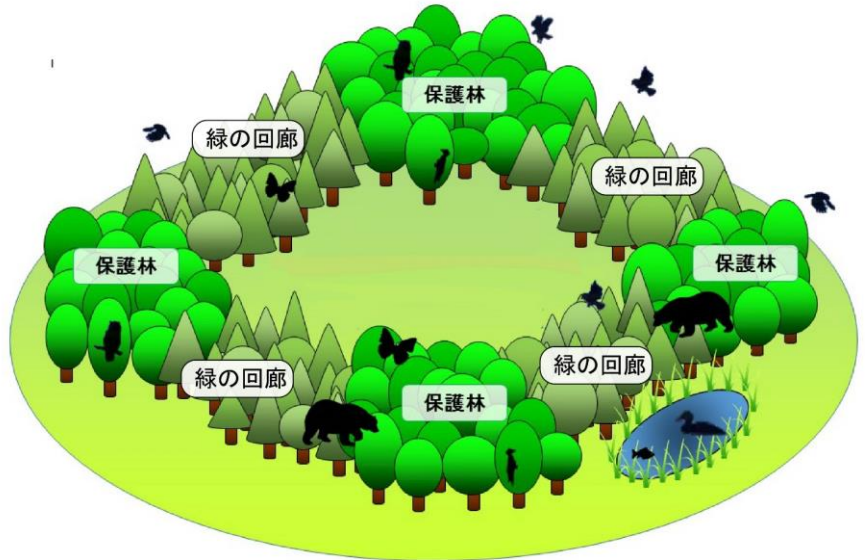
森林生態系の構成者である野生生物の多様性の保全には、その移動経路を確保し、生育・生息地の拡大と相互交流を促すことが必要とされています。

中部森林管理局では、保護林を中心にネットワークを形成する「緑の回廊」を設定し、様々な野生生物の生育・生息地を結び、貴重な森林生態系を守るための取組を進めています。

管内には、①緑の回廊雨飾・戸隠(3,792ha)、②緑の回廊八ヶ岳(5,835ha)、③白山山系緑の回廊(23,517ha)、④越美山地緑の回廊(7,260ha)の4箇所(合計40,404ha)を設定しています。



<緑の回廊位置図>



緑の回廊[コリドー]
<イメージ図>

◇木曽悠久の森の取組◇

世界的にも希少で貴重な、木曽地方の天然のヒノキやサワラ等を構成樹種とする、温帯性針葉樹林を守り育てていく取組を進めています。

中部森林管理局では、木曽地方の約1万7千haを「生物多様性復元地域」(愛称:「木曽悠久の森」)として設定し、天然林の保存、人工林から天然林への復元などに取り組んでいます。

現在

将来



(5) ニホンジカ被害対策

◇守りの対策◇

ニホンジカによる森林被害に対処するため、守り(防護)の対策として、造林地の植栽木や高山植物等を保護する防護柵を設置しています。



立木を支柱として利用した低コストな防護柵
(東濃署)



標高2,700m付近での防護柵の設置
(南アルプス仙丈ヶ岳)

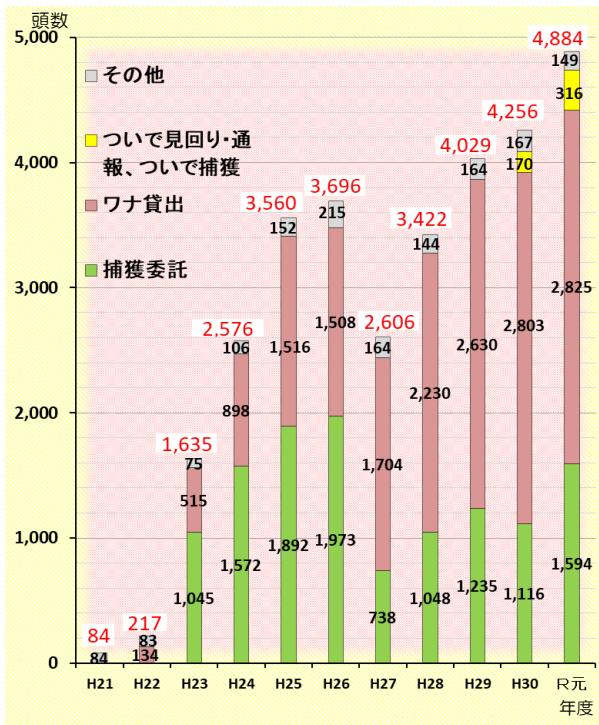
◇攻めの対策◇

攻め(捕獲)の対策として、ニホンジカを効率的に捕獲するための生息調査、市町村等へのくりワナの貸出、委託捕獲等を各地の協議会と連携して実施するほか、請負事業体等と猟友会が連携してくりワナを用いる「ついで捕獲」や「ついで見回り・通報」を行うなど地域ぐるみの取組を行っています。また、ICTを活用した捕獲やクマの錯誤捕獲防止ワナ等の開発・普及など、新たな捕獲方法にも取り組んでいます。



「ついで捕獲」「ついで見回り・通報」の概念図

中部森林管理局が実施した
ニホンジカの捕獲頭数



2 林業の成長産業化への貢献

(1) 徹底的なコスト縮減と生産性向上

◇徹底的なコスト縮減◇

伐採から造林までを一体的に行う「伐採・造林一貫作業システム」の実施により、^{じこしら}地拵えコストの縮減や、下刈り回数の縮減を図るなど造林・保育の低コスト化を進めています。

伐採・造林一貫作業システムによるコスト縮減



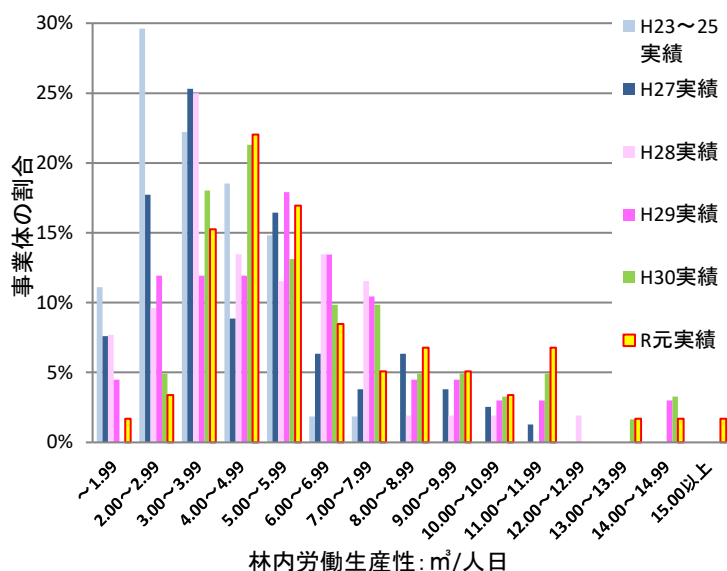
◇生産性向上実現プログラムの取組◇

木材需要の拡大に伴う安定的・効率的な丸太の生産体制を確立するため、素材生産事業者、民有林行政担当者、有識者の方々と連携して生産性向上に取り組んでいます。

- ・現地検討会の開催
- ・作業工程毎の生産性や進捗状況の把握を容易にする日報様式の配布と改良
- ・優良事業地の公表
- ・素材生産事業者等が行う勉強会や発表会の支援



中部局の事業者の林内労働生産性の推移(間伐)



間伐の生産性が4.0m³/人日以上の事業者の割合が4割(H23~H25平均)から8割(R元)に増加しました。

※ 間伐の生産性の全国平均は4.55m³/人日(R元)

(2) 木材の安定供給とブランド材の需要拡大の推進

水源の涵養^{かん}や自然環境の保全などに十分配慮しながら森林整備を行い、生産される木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。

◇安定供給システムによる木材の販売◇



製材品



工場での加工



合板

国有林材の安定供給システム販売は、需要者と事前に安定供給の協定を締結し、丸太等を直接安定的に供給する販売方法です。地域の林業・木材産業の活性化や新たな需要開拓に貢献できるよう推進しています。

◇高品質ブランド材の需要拡大◇

管内には高齢級の良質な人工林(ヒノキ、カラマツ等)が生育しており、良質な大径材を厳選し、ブランド材として供給しています。

また、需要者からの特殊な寸法や品質の木材へのニーズについて、委託問屋を経由しての情報収集ルートの開設に取り組んでいます。



長野県の「信州プレミアムカラマツ」



木曽、東濃の「高国木曾ひのき」



愛知県の「段戸SAN」

◇特殊な用途への林産物の安定供給◇

管内には日本を代表する木曾ヒノキなどの多様な森林資源があり、国有林ならではの^{たいけいちようしやくざい}大径長尺材などを公共建築物、文化財の修復や伝統工芸などの資材として、木の文化を守るために供給しています。



大嘗宮への良質皮付きカラマツ丸太の供給



公共建築物の木造化
木曽町役場本庁舎・防災センター
(令和3年4月開庁)



文化財への天然木曾ヒノキの供給



屋根葺き材として利用される天然サワラ

(3) 民有林との連携

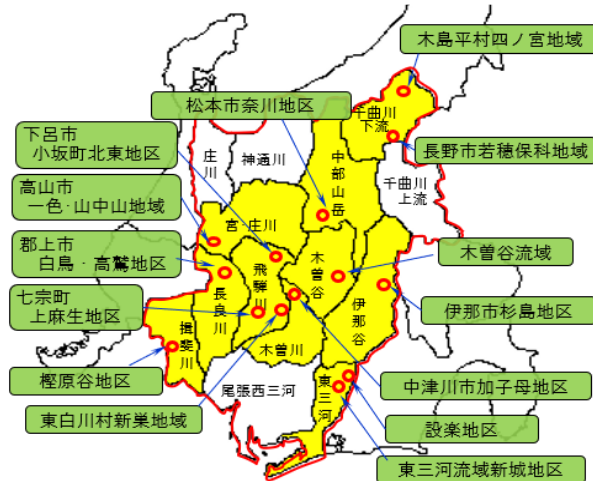
◇民有林と連携した事業の推進◇

民有林との森林整備推進協定を締結し、国有林と民有地を接続する効率的な路網の整備や木材の協調出荷など、施業集約に向け取り組んでいます。



国有林を通過する林道を作設することで、民有林での施業が可能となったケース(岐阜署)

《森林整備推進協定の締結状況》: 14件



中間土場を活用したシステム販売(木曾署)

◇民有林への技術の普及◇

多様な森林づくりの取組や、木材生産と造林の低コスト化等の取組の成果については、現地検討会や森林技術交流発表会の開催等により、民有林の関係者に普及しています。



山岳学位プログラム現地実習(東信署)



段戸SAN採材現地検討会(愛知所)



中部森林技術交流発表会(中部局)

国有林のフィールドや技術力を活用し、市町村の森林・林業行政を支援する森林総合監理士(フォレスター)等の育成・支援を推進するとともに、大学及び研究機関等と連携し、将来の森林・林業技術者の育成に向けた取組を実施しています。



実践研修の現地実習: 東濃署(森林技術・支援センター)



ICT研修の現地実習: 岐阜署(森林技術・支援センター)



ニホンジカ食害防除対策検討会(岐阜署、森林技術・支援センター)

◇「森林経営管理制度」の推進◇

令和元年度より開始した「森林経営管理制度」の推進に向け、市町村で活躍できる林業経営体への伐採等の委託に係る配慮、経営管理に資する技術の普及や自治体への助言等に取り組めます。

3 「国民の森林」としての管理経営

(1) 双方向の情報受発信

国民の方々との双方向の情報等の受発信により、透明性の高い国有林野の管理経営を進めます。

◇国有林モニター◇

一般公募により選定した「国有林モニター」を対象に、国有林の取組等に対するアンケート調査、現地視察会及びモニター会議を実施し、頂いたご意見を管理経営に活かす取組を実施しています。



国有林モニター会議(中部局)



国有林モニター現地視察(愛知所)

◇現地見学会の開催◇

地域住民の方々に国有林をより身近に感じてもらうための取組として、各署等において、国有林の各種事業の現地見学会を開催しています。



生産事業の現地見学会(東濃署)



治山事業地の現地見学会(伊那谷総合治山事業所)

◇国有林の森林計画の策定◇

森林計画の策定にあたり、国有林の森林資源や整備状況、利活用等に関する情報を提供するとともに、ホームページ等により意見を募集し、幅広い情報や要請を計画に反映すべく取り組んでいます。

(2) 森林環境教育の推進

森林づくり活動に取り組むNPOなど民間団体が行う自主的な活動への支援や、地域の関係者との連携による森林環境教育などの普及啓発活動を行っています。



小学生の檜皮採取作業見学
(南木曽支署)



高校生の森林環境教育
(木曽署)



教職員を対象とした研修会
(木曽森林ふれあい推進センター)

(3) 国民参加の森林づくり

NPOなど民間団体、学校や企業等との協定締結により、森林整備・保全活動や環境教育等の場として国有林のフィールド提供や活動の支援により、国民参加の森林づくりを推進しています。

「ふれあいの森」



太樹の森・赤沢(木曽署)

設定数
9

植林や保育など森林整備活動に参加したいというボランティア団体等による、自主的な森林づくり活動のためのフィールド。

「遊々の森」



多摩市民の森・フレンドツリー(南信署)

設定数
12

学校などの教育機関が、さまざまな体験活動や学習活動を行うためのフィールド。
森林の利用を通じた子どもたちの人格形成や、幅広い知識の習得を行う森林環境教育の場として利用いただけます。

「木の文化を支える森」

歴史的な木造建築物や伝統工芸などの「木の文化」を後世に継承していくための森林づくり活動を行うためのフィールド。地方公共団体などで構成される地域の協議会による植樹や下草刈などの活動が行われています。

設定数
8



御柱の森(南信署)

「社会貢献の森」



風とせせらぎの森林(富山署)

設定数
4

地球温暖化防止など地球環境保全への関心が高まっている中、企業の社会的責任(CSR)活動などを目的とした森林整備活動のためのフィールド。

「多様な活動の森」



松ぼっくりの森(東信署)

設定数
11

歩道の草刈、自然観察、美化活動、森林パトロールなどの森林の保全活動を行うためのフィールド。

記念分収造林は歴史的行事等を記念するために特別な条件(国2:造林者8の分収割合)を定めて契約するもので、環境保全や地域振興等に取り組む企業を支援し、国民参加の森林づくりを促進することとしています。

令和元年度 天皇陛下御即位記念分収造林【2件契約】



【東信署】
立科国有林(佐久市)
契約面積: 4.04ha
植栽樹種: カラマツ
契約期間: 60年間



【愛知所】
段戸国有林(設楽町)
契約面積: 2.31ha
植栽樹種: スギ、ヒノキ
契約期間: 80年間

(4) レクリエーションの森

レクリエーションの森の設定状況

国有林では国土保全や自然保護との調和を図りつつ、自然観察や森林浴、野外活動などに広く利用されることを目的として、「レクリエーションの森」を設定しています。

地元市町村をはじめ地域関係者の方々が連携し、登山や観光スポット、スポーツの場として国有林の多様な森林環境が活用されています。

自然休養林 (11箇所)

特に景観に優れ、保健休養に適した森林で、自然探勝や散策、キャンプなど複合的なレクリエーションを楽しむことができます。



とがし・おおみね
戸隠・大峰自然休養林
(長野県長野市)

自然観察教育林 (16箇所)

自然の変化に富み、小中学生の自然観察学習に適した森林で、野生動植物の観察や森林のはたらきなどを学ぶことができます。



豊橋自然観察教育林
(愛知県豊橋市)

風致探勝林 (30箇所)

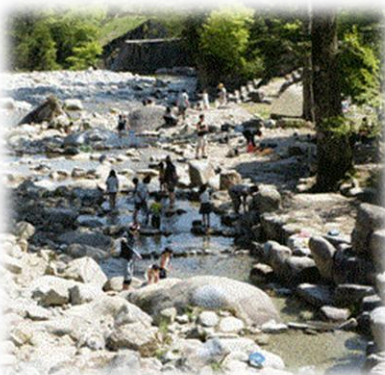
湖沼、溪谷などと一体となり、潤いある自然景観を構成している地域で、様々な樹木や自然美を楽しむことができます。



びじょだいら
美女平風致探勝林
(富山県立山町)

森林スポーツ林 (4箇所)

森林とのふれあいやアウトドアスポーツに適した森林で、キャンプやサイクリングなどで自然を体感できます。



ゆうもり
夕森森林スポーツ林
(岐阜県中津川市)

野外スポーツ地域 (16箇所)

スキー場や附属施設が一体となった地域で、雄大な自然の中で爽快な汗を流すことができます。



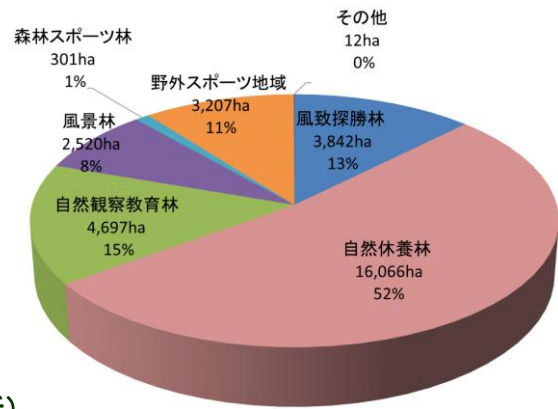
野沢温泉野外スポーツ地域
(長野県野沢温泉村)

風景林 (10箇所)

名所、旧跡などと一体となって景勝地を形成している森林で、森林の雄大な景観と地域の歴史を感じることができます。



ビーナスライン風景林
(長野県小県郡一松本市)



レクリエーションの森 設定面積
30,644ha (R3年4月1日現在)

※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

◇日本美^{うつく}しの森～お薦め国有林～◇

レクリエーションの森の中で、特に魅力的で観光資源としての活用が期待される箇所が、「日本美しの森」として平成29年4月に全国で93箇所の国有林が選定されました。中部森林管理局管内では10箇所が選定されています。

あかさわ

赤沢自然休養林

所在地：長野県木曾郡上松町



樹齢300年を超える木曾ヒノキの森を満喫できる散策コースを8つも備える「森林浴」発祥の地。大正から昭和に活躍した森林鉄道に乘車することができ、清流からの爽やかな風が心地いい。

ゆのまる・たかみね

湯の丸・高峰自然休養林

所在地：長野県上田市／東御市／小諸市

たきごし

滝越森林スポーツ林

所在地：長野県木曾郡王滝村

くらがり

閻苺溪谷風致探勝林

所在地：愛知県岡崎市



夏場は、キャンプにパーベキュー、川遊びの家族連れで賑わう。溪谷沿いには不動の滝、さるとび岩など「くらがり八景」と呼ばれる景勝地が散策できる。

とがくし・おおみね

戸隠・大峰自然休養林

所在地：長野県長野市／上水内郡信濃町

つがいけ

柵池湿原風致探勝林

所在地：長野県北安曇郡小谷村／白馬村

ごまかたけ

駒ヶ岳風致探勝林

所在地：長野県駒ヶ根市／上伊那郡宮田村

おんたけ

御岳自然休養林

所在地：岐阜県下呂市／高山市



冬はスキー、初夏から秋には散策や滝巡りで人気のスポット。高地トレーニング施設を擁し、御嶽山7合目に位置する濁河温泉は、茶褐色の温泉が湧く高所温泉地として知られる。

ひだはくさんしらかわごう

飛騨白山自川郷自然休養林

所在地：岐阜県大野郡白川村

きんかさん

金華山自然観察教育林

所在地：岐阜県岐阜市

◇国有林おさんぽMAP～ Chubu National Forest Footpaths 45～◇

中高年の方々をはじめとする国民の皆様に、国有林のフィールドを「おさんぽを通した心身の健康づくり」に活用いただくことを目的に、「国有林おさんぽMAP」を作成し、公表しています。

森林内で過ごすことは、リラックス効果が期待できるほか、歩き方の工夫で骨粗鬆症、認知症予防の効果も期待できるといった情報も掲載しています。

「国有林おさんぽMAP」のURL
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/welcome/invitation/sanpo-map.html>



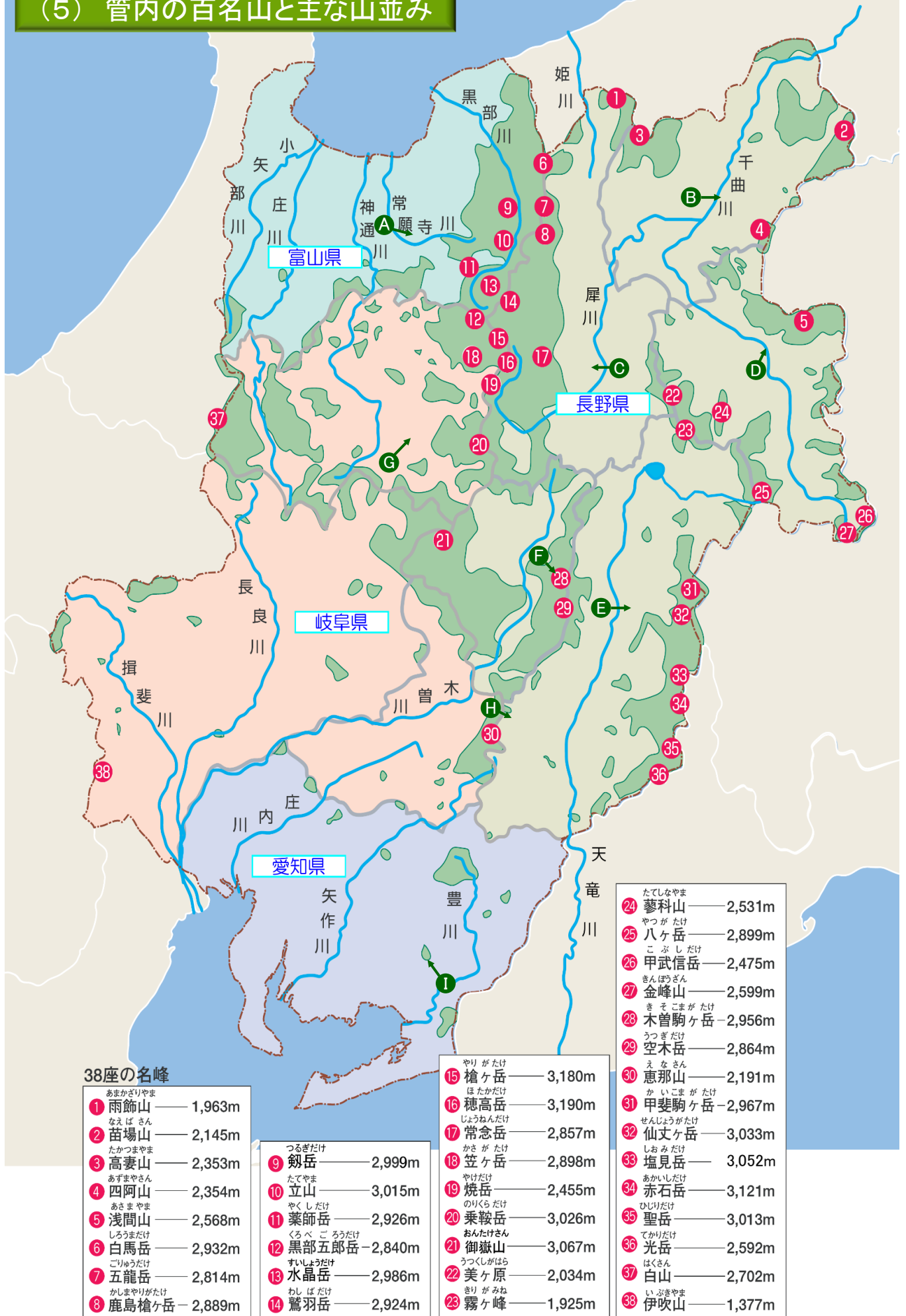
「恋する花子まっぷ」のURL
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/index.html



国有林に恋をする主人公の「花子」が、都会の日常生活を飛び出して、全国のレクリエーションの森へ会いに行く、林野庁企画のシリーズ第一弾に、長野県と岐阜県にまたがる乗鞍岳（乗鞍自然観察教育林）が選ばれ、このほどパンフレットとポスターが完成しました。

こちらもチェック！

(5) 管内の百名山と主な山並み



38座の名峰

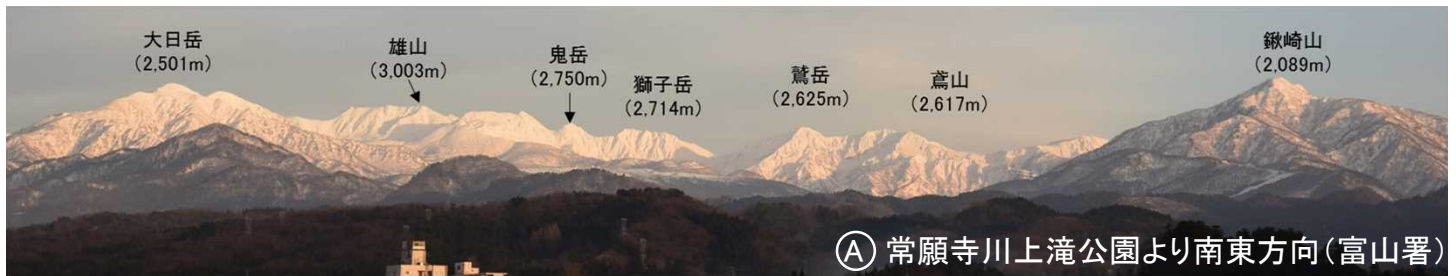
- 1 雨飾山 — 1,963m
- 2 苗場山 — 2,145m
- 3 高妻山 — 2,353m
- 4 四阿山 — 2,354m
- 5 浅間山 — 2,568m
- 6 白馬岳 — 2,932m
- 7 五龍岳 — 2,814m
- 8 鹿島槍ヶ岳 — 2,889m

- 9 剣岳 — 2,999m
- 10 立山 — 3,015m
- 11 薬師岳 — 2,926m
- 12 黒部五郎岳 — 2,840m
- 13 水晶岳 — 2,986m
- 14 鷲羽岳 — 2,924m

- 15 槍ヶ岳 — 3,180m
- 16 穂高岳 — 3,190m
- 17 常念岳 — 2,857m
- 18 笠ヶ岳 — 2,898m
- 19 焼岳 — 2,455m
- 20 乗鞍岳 — 3,026m
- 21 御嶽山 — 3,067m
- 22 美ヶ原 — 2,034m
- 23 霧ヶ峰 — 1,925m

- 24 蓼科山 — 2,531m
- 25 八ヶ岳 — 2,899m
- 26 甲武信岳 — 2,475m
- 27 金峰山 — 2,599m
- 28 木曽駒ヶ岳 — 2,956m
- 29 空木岳 — 2,864m
- 30 恵那山 — 2,191m
- 31 甲斐駒ヶ岳 — 2,967m
- 32 仙丈ヶ岳 — 3,033m
- 33 塩見岳 — 3,052m
- 34 赤石岳 — 3,121m
- 35 聖岳 — 3,013m
- 36 光岳 — 2,592m
- 37 白山 — 2,702m
- 38 伊吹山 — 1,377m

A ~ I : 山並みの撮影ポイント及び撮影方向



「中部地方の山並み」(①~⑩の23箇所(29方向)網羅版)はこちら→



(6) 管内の巨木



① 森太郎
(北信署:ブナ)



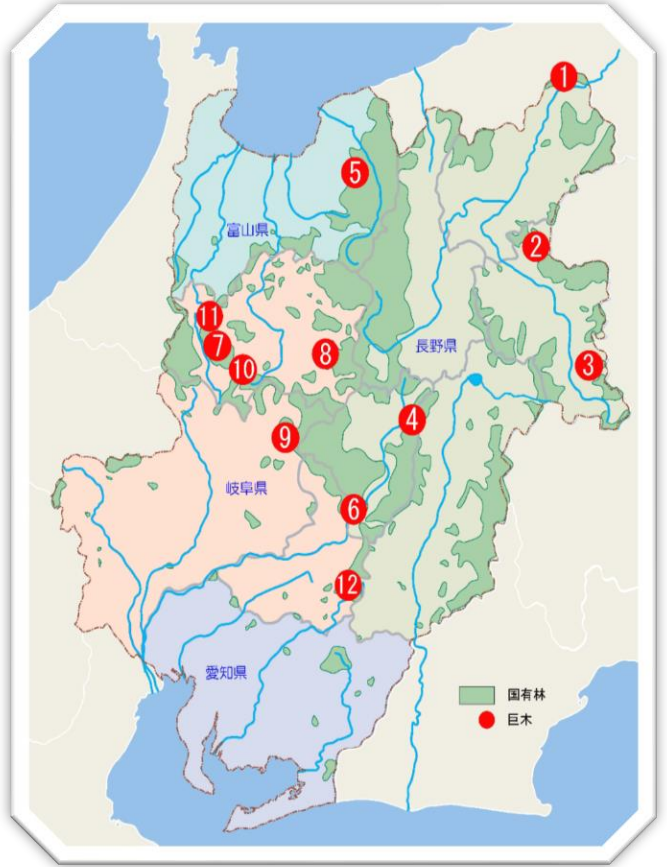
② 弘法大師のさかさ杖
(東信署:シナノキ)



③ 茂来山のコブ太郎
(東信署:トチノキ)



④ ジャンボカラマツ
(中信署:カラマツ)



⑤ ブナ平立山のスギ
(富山署:スギ)



⑥ 神坂大檜
(東濃署:ヒノキ)



⑦ 宮の大イチイ
(飛騨署:イチイ)



⑧ 平湯の大ネズコ
(飛騨署:ネズコ)



⑨ 天保の大ヒノキ
(岐阜署:ヒノキ)



⑩ 荘川のヒメコマツ
(飛騨署:ヒメコマツ)



⑪ 荘川のヒノキ
(飛騨署:ヒノキ)



⑫ かさぎ木
(東濃署:ヒノキ)

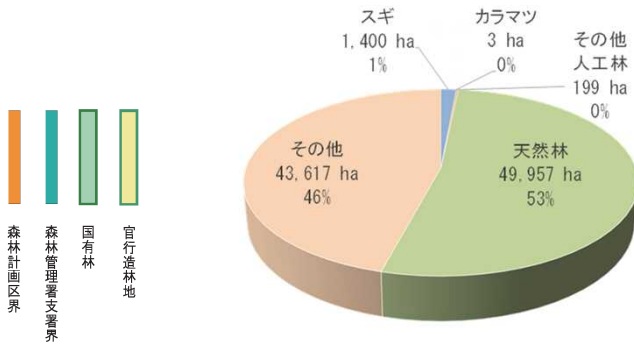
富山県の国有林

面積: 103,649ha

※地図中の森林事務所及び治山事業所の位置と森林官及び治山技術官の勤務先は異なる場合があります。
※小数点以下四捨五入により、面積合計、率は一致しない場合があります。

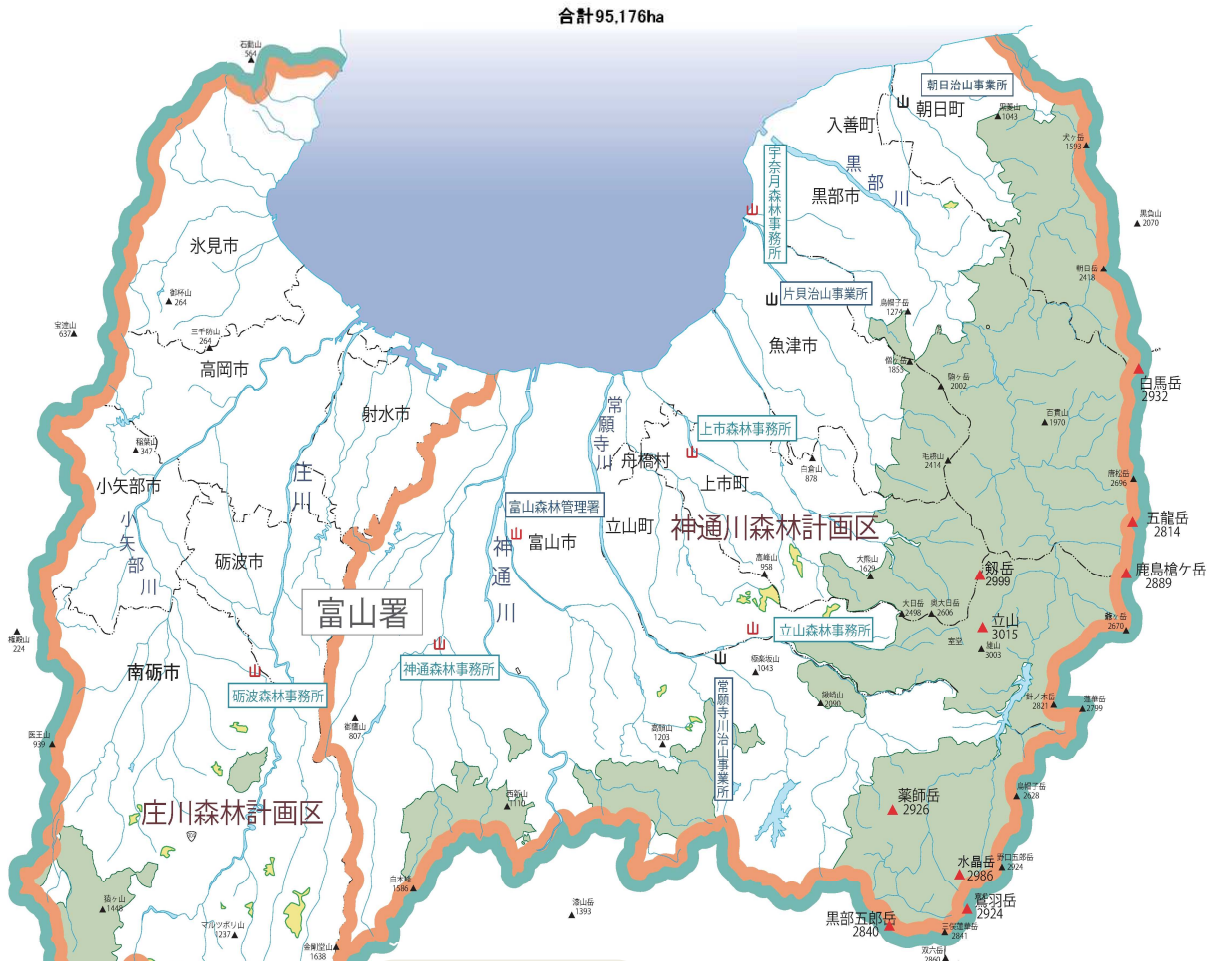


立山カルデラ



じんづうがわ 神通川森林計画区

立山、黒部峡谷などに代表される美しい自然景観を有し、保健機能の発揮が期待される森林が多く、また、花崗岩地帯は崩壊地が多く、治山による国土保全が求められる地域です。

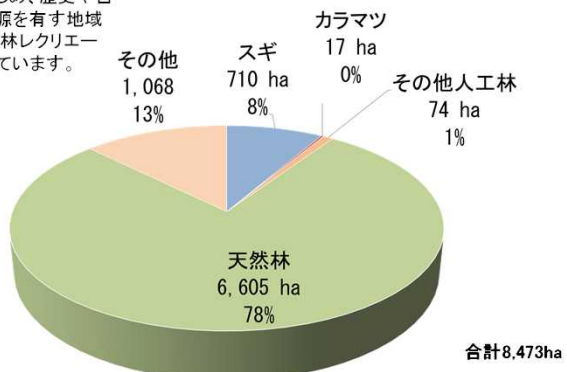


しょうがわ 庄川森林計画区

五箇山合掌造集落をはじめ、歴史や自然環境を活かした観光資源を有す地域であり、天然林率が高く森林レクリエーションの場として利用されています。



ブナオ峠から見た桂湖



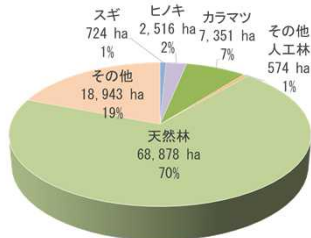
長野県の国有林

面積: 366,589ha

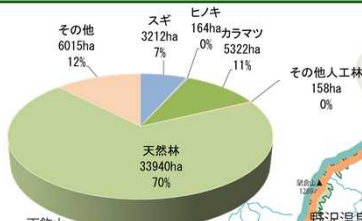
中部山岳森林計画区

雄大なアルプスを背景とした四季は美しく、上高地、乗鞍高原、美ヶ原高原など観光資源が豊かである一方、糸魚川ー静岡構造線などの断層があり治山事業による国土保全が求められる地域です。

合計98,987ha



大正池から穂高岳を望む



千曲川下流森林計画区

日本有数の豪雪地帯で、ブナなどの天然林が多く、志賀高原、戸隠高原、カヤの平などのスキー場やキャンプ場など、森林レクリエーションの場に恵まれた地域です。



カヤノ平自然休養林のブナ林

千曲川上流森林計画区

信州カラマツの里として集成材など木材加工が発達した地域であるとともに、浅間山麓、菅平、北白樺などの高原地帯はリゾート地が形成されています。

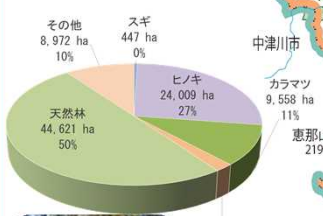


湯ノ丸高原のカラマツ林

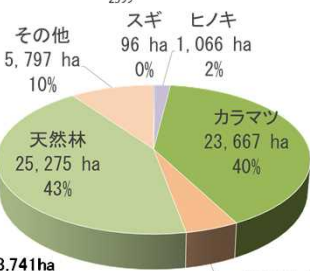
木曽谷森林計画区

古来より文化財などの建造物材料として使用された木曽ヒノキの里として、また、木工芸品などにより木の文化を引き継いできた地域です。木曽ヒノキとふれあえる観光地として、赤沢自然休養林などがあります。

合計89,442ha

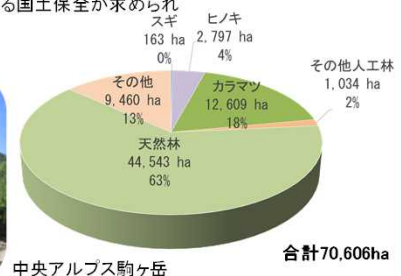


木曽ヒノキ



伊那谷森林計画区

南・中央アルプスに囲まれたこの地域は諏訪湖を源とした天竜川が南下し、その風景は美しさや山岳地帯の荒々しさを併せ持っています。また、南北に中央構造線が走ることから、治山事業による国土保全が求められています。



中央アルプス駒ヶ岳

※地図中の森林事務所及び治山事業所の位置と森林官及び治山技術官の勤務先は異なる場合があります。
※小数点以下四捨五入により、面積合計、率は一致しない場合があります。

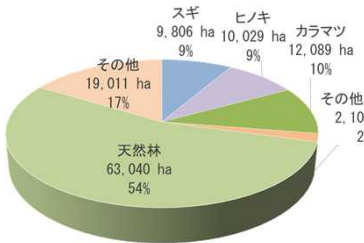
岐阜県の国有林

面積: 173,670ha

※地図中の森林事務所及び治山事業所の位置と森林官及び治山技術官の勤務先は異なる場合があります。
※小数点以下四捨五入により、面積合計、率は一致しない場合があります。

宮・庄川森林計画区

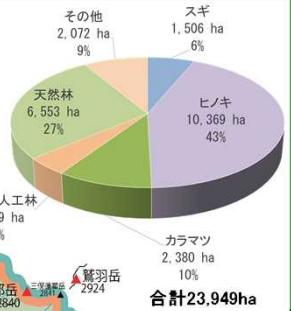
庄川、宮川、高原川の源流地域である白山山系、飛騨山系は優れた自然環境を有し、国有林も森林レクリエーションの場として利用されています。



白川郷の合掌造り集落

飛騨川森林計画区

東濃ヒノキに代表される木材の主要な生産地であり、また、中京圏の水源である木曾川に通じる飛騨川上流域は北アルプス南端にあたり、自然景観に恵まれた地域です。



赤沼田天保林ヒノキ

長良川森林計画区

岐阜署

揖斐川森林計画区



のこう谷に 能郷谷流域



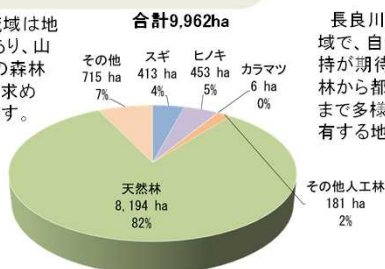
長良橋と金華山



たかだる 高樽の滝

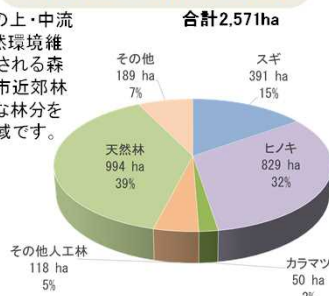
揖斐川森林計画区

揖斐川上流域は地形が急峻であり、山地災害防止の森林整備・保全が求められる地域です。



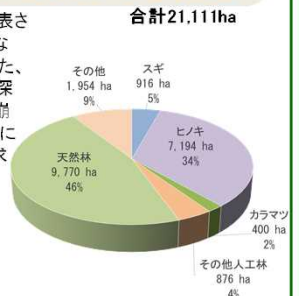
長良川森林計画区

長良川の上・中流域で、自然環境維持が期待される森林から都市近郊林まで多様な林分を有する地域です。



木曾川森林計画区

東濃ヒノキに代表される木材の主要な生産地であり、また、断層や花崗岩の深層風化の影響で崩壊地が多く、治山による国土保全が求められています。



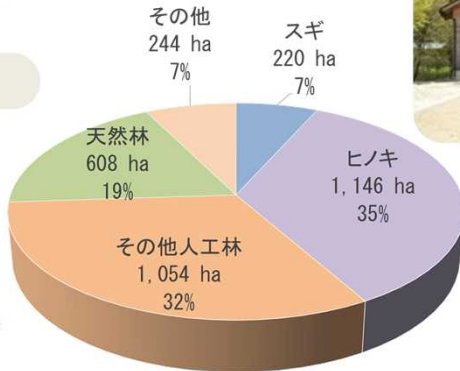
※小数点以下四捨五入により、面積合計、率は一致しない場合があります。

愛知県の国有林

面積：10,907ha

尾張西三河森林計画区

大都市を形成する木曾川・庄内川下流の平野部に位置し、都市近郊林としての活用が期待される国有林を有する地域です。



森林交流館



間刈風致探勝林

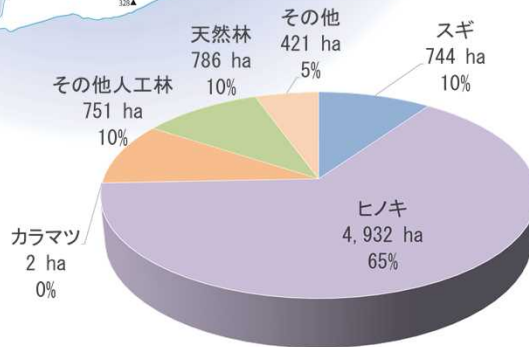
合計3,272ha



東三河森林計画区

東三河地域の水源である豊川などの源流域の三河山地区は、スギ、ヒノキを主体とする優良造林地が多くみられる地域です。

合計7,635ha



明治26年植栽ヒノキ人工林



三河湾の漁師と学生による広葉樹の植付 (漁民の森林づくり活動)

私たち中部森林管理局の職員は もり 森林づくりと木づかいを未来へ紡いでいます





デジタル森林紀行(愛称: デジ森(もり))掲載写真

中部森林管理局のホームページには、ご自宅や外出中でもお気軽に森林が織りなす美しい風景を楽しむことができるサイトがあります。



デジ森への入場ゲートは次のQRコードを読み込んでください。



**林野庁
中部森林管理局**

国民の森林・国有林

お問い合わせ先

〒380-8575 長野県長野市大字栗田715番地5
TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657 (企画調整課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>



名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市臼田1822	050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	050-3610-6075	FAX 0265-22-0149

(令和3年4月27日発行)